

三木町公告第 14 号

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第19条第5項の規定により、地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）を変更したので、同条第8項の規定により公告する。

令和8年3月31日

三木町長 伊藤 良春

1 地域農業経営基盤強化促進計画を変更した地区

① 平井地区

② 氷上地区

2 更新年月日

令和8年3月26日

3 地域農業経営基盤強化促進計画の案に対する意見書の要旨及び処理結果

裏面のとおり

地域農業経営基盤強化促進計画の案に対する意見書の要旨及び処理結果について

1 意見書の提出期間：令和8年3月9日 ～ 令和8年3月23日

2 意見書の要旨及び処理結果

意見書の要旨	提出数	処理結果
該当なし	該当なし	該当なし

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月26日 (第3回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	三木町 341
地域名 (地域内農業集落名)	平井地区 (池戸、平木、鹿伏、井上)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	304 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	188 ha
② 田の面積	254 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	50 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	3.6 ha
(参考)区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	113 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	58 ha
(備考)遊休農地面積2.7ha	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における75才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

地区内の農用地は、圃場整備事業で整備された農用地が多く、地域内外の土地利用型の集落営農法人や認定農業者が多く集積している。また、イチゴの施設栽培も盛んで新規就農者も多い。農業者の高齢化や後継者不足はあるが、集落営農法人等が規模拡大を図り、遊休農地等を防いでいる。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

当地域は地域内外からイチゴの新規就農者も着実に増えているため、高収益であるイチゴを中心に稼げる農業体制を構築し、新規就農者の確保に努める。また、近年米麦に加え、地域外の畜産農家と連携し、耕畜連携等によるWCS栽培が今後増える見込みである。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
新規就農者に農用地を優先的に斡旋する。地元の意向を汲みつつ、地域の担い手を対象として優先的に農用地を貸し出し、その後、地域外や入作農家等を調整する。水稲の裏作として麦や露地野菜栽培等を行うことで農用地を効率に利用し、農業経営の複合化を推進する。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	34.2 %	将来の目標とする集積率	67 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
自己所有農用地については、自己管理による保全を基本として、後継者がいない等で維持管理ができない農地については、農地機構や近隣の担い手等に打診して農用地の集団化を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地機構を活用して、地域の新規就農者や認定農業者を中心に農用地の集積・集約化を推進し、農用地の集団化を図る。また、受け手がいない場合は、地域外の担い手と調整する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農業者の高齢化により、経営規模の縮小や、離農する農業者が増えてくると見込まれるため、農用地の所有者の意向を踏まえた上で農地機構に貸し付け、農用地を地域内の新規就農者や担い手を中心に集積・集約するとともに、引き受け手がいないときは地域外の担い手で調整する。
(3)基盤整備事業への取組
既に実施しているところが多く、新たな計画はない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
東讃農業改良普及センターと協力連携して、認定農業人材等の多様な経営体の掘り起こしや確保に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
非担い手農家を中心に農業支援グループ等への委託作業を利用し農地の維持管理を図る。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

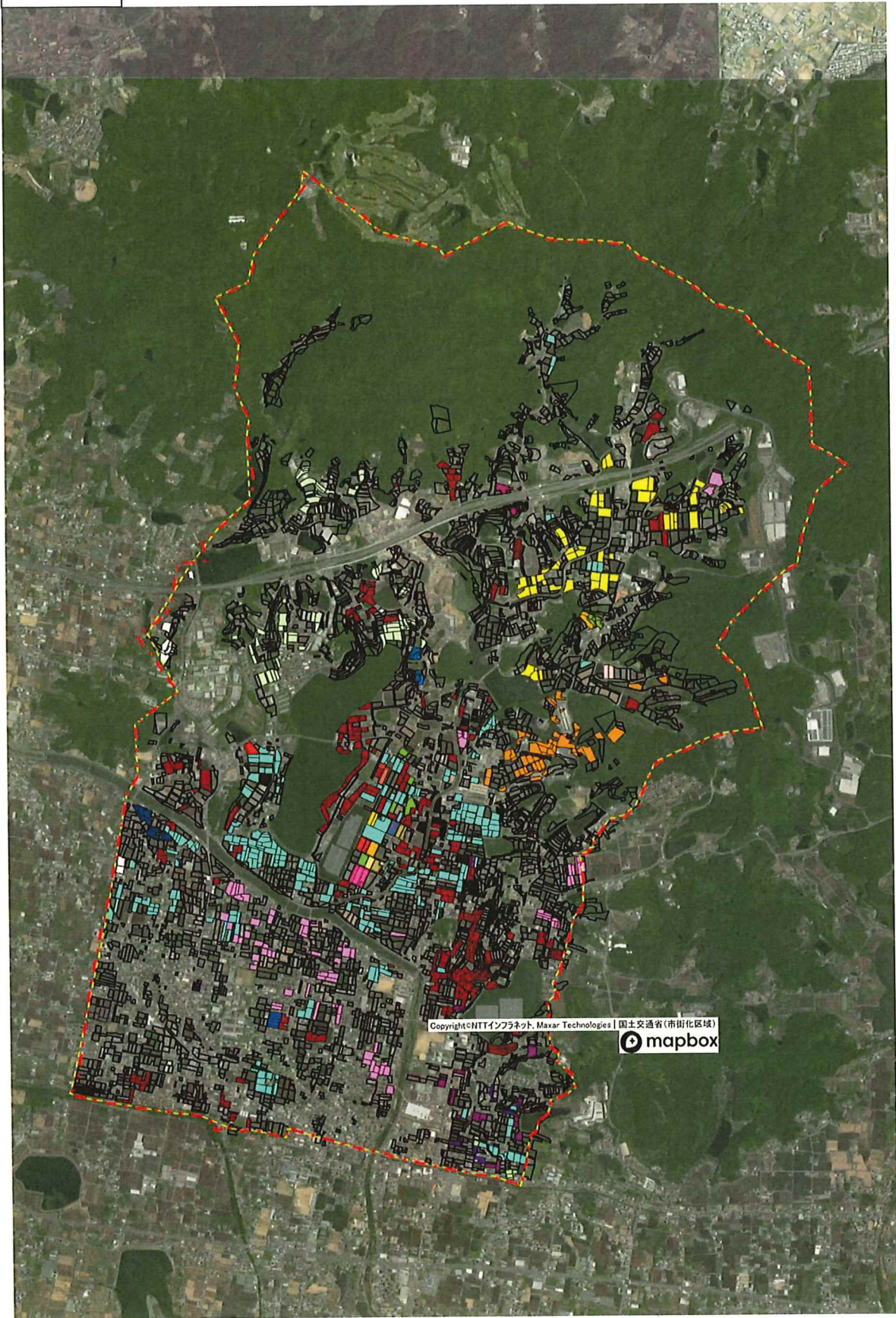
【選択した上記の取組内容】

⑨近年の飼料高や麦の単価安に対応するため、地域内外の畜産農家と連携し、耕畜連携によりWCSや飼料作物を増やす。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	利用者 三谷 実	水稻、菜花	0.9 ha	ha	水稻、菜花	1.6 ha	ha	1	
2	認農 石濱 敏男	施設園芸、水稻	0.8 ha	ha	施設園芸、水稻	0.8 ha	ha	2	
3	認農 藤川 光男	タバコ、水稻、麦	9.2 ha	ha	タバコ、水稻、麦	9.9 ha	ha	3	
4	認農 吉川 典宏	いちご	0.6 ha	ha	いちご	0.6 ha	ha	4	
5	認農 三好 誠	いちご	0.3 ha	ha	いちご	0.3 ha	ha	5	
6	認農 山地 秀昭	いちご	0.2 ha	ha	いちご	0.2 ha	ha	6	
7	認就 久保 英実	いちご	0 ha	ha	いちご	0.3 ha	ha	7	
8	認農 原内 健正	酪農、飼料作物	0.5 ha	ha	酪農、飼料作物	0.5 ha	ha	8	
9	認農 谷井 美樹	水稻、麦	9.1 ha	ha	水稻、麦	9.4 ha	ha	9	
10	認農 森北 知宏	イチゴ	0.4 ha	ha	イチゴ	0.4 ha	ha	10	
11	認農 中西 信也	イチゴ	0.4 ha	ha	イチゴ	0.4 ha	ha	11	
12	認就 河野 大輔	イチゴ	0.4 ha	ha	イチゴ	0.4 ha	ha	12	
13	認農 崎野 隆行	露地野菜	6.9 ha	ha	露地野菜	6.9 ha	ha	13	
14	認農 長谷 恭光	イチゴ	0.4 ha	ha	イチゴ	0.4 ha	ha	14	
15	認農 夏見 徹	イチゴ	0.3 ha	ha	イチゴ	0.3 ha	ha	15	
16	認農 (農)東山産業	採卵鶏	6.1 ha	ha	採卵鶏	6.1 ha	ha	16	
17	認農 プーネートレーディング(株)	飼料作物	0.7 ha	ha	飼料作物	0.7 ha	ha	17	
18	認農 (農)井上明風営農組合	水稻、麦	22.6 ha	ha	水稻、麦	24.2 ha	ha	18	
19	認農 いちご家めい(株)	イチゴ	0.3 ha	ha	イチゴ	0.3 ha	ha	19	
20	認農 あぐりぼん(株)	イチゴ	0.6 ha	ha	イチゴ	0.6 ha	ha	20	
21	認農 日笠工業(株)	水稻、麦	25.9 ha	ha	水稻、麦	25.9 ha	ha	21	
22	認農 (農)亀田南町グリーンファーム	麦、野菜	0.6 ha	ha	麦、野菜	0.6 ha	ha	22	
23	認就 西浦 万理	イチゴ	0.4 ha	ha	イチゴ	0.4 ha	ha	23	
24	認農 いちごスタジオ(株)	イチゴ	0.4 ha	ha	イチゴ	0.4 ha	ha	24	
25	認農 植村 敏史	野菜	0.9 ha	ha	野菜	0.9 ha	ha	25	
26	認農 石川 拓	酪農、水稻	0.4 ha	ha	酪農、水稻	0.4 ha	ha	26	
27				ha		ha	ha		
28				ha		ha	ha		
29				ha		ha	ha		
30				ha		ha	ha		
31				ha		ha	ha		
32				ha		ha	ha		
33				ha		ha	ha		
34				ha		ha	ha		
35				ha		ha	ha		
36				ha		ha	ha		
37				ha		ha	ha		
38				ha		ha	ha		
39				ha		ha	ha		
40				ha		ha	ha		
41				ha		ha	ha		
42				ha		ha	ha		
43				ha		ha	ha		
44				ha		ha	ha		
45				ha		ha	ha		
46				ha		ha	ha		
47				ha		ha	ha		
48				ha		ha	ha		
49				ha		ha	ha		
50				ha		ha	ha		
51				ha		ha	ha		
52				ha		ha	ha		
53				ha		ha	ha		
54				ha		ha	ha		
55				ha		ha	ha		
56				ha		ha	ha		
57				ha		ha	ha		
58				ha		ha	ha		
59				ha		ha	ha		
60				ha		ha	ha		
61				ha		ha	ha		
62				ha		ha	ha		
63				ha		ha	ha		
64				ha		ha	ha		
65				ha		ha	ha		
66				ha		ha	ha		

目標地図



凡例	
1	2
3	4
5	6
7	8
9	10
11	12
13	14
15	16
17	18
19	20
21	22
23	24
25	26
27	

Copyright©NTTインフラネット, Maxar Technologies | 国土交通省(市街化区域) mapbox

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月26日 (第3回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	三木町 341
地域名 (地域内農業集落名)	氷上地区 (氷上、上高岡)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	295 ha
① 農業振興地域のうち農用地域内の農地面積	214 ha
② 田の面積	274 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	21 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	7.8 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	10.7 ha
(参考) 区域内における75才以上の農業者の農地面積の合計	118 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	84 ha
(備考) 遊休農地面積3.4ha	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域は町の中心地域で、幹線道路が通り、商業施設も密集している。そのため、農用地の宅地化が進み、農業者の高齢化や後継者不足等の理由により、離農も多い。地域の担い手も少ない中、現役の担い手がお互いの農用地の利用権を交換し、農用地を集約することで、作業の効率化を図っている。一方、上高岡地区は、比較的まとまった農用地はあるものの、氷上地区同様に地域の担い手が少ないため、意欲のある担い手や地域外から入作等を中心に米麦や耕畜連携による飼料作物の作付けを行っている。農道も狭小で農用地も不整形なものも多く、大型機械の使用が困難で、農用地、農道、及び水路等の維持管理に労力や費用を要するため、後継者による耕作の継続や担い手が引き受ける際の課題となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

土地利用型農家の離農や規模縮小により、多くの農用地が出てくことや、地域の担い手(土地利用型農家、露地野菜農家)が少ないため、遊休農地化が懸念される。今後需要拡大が期待される野菜等の高収益作物や他の作物との複合経営への転換を検討するとともに、地域外の担い手への集積も図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
新規就農者に農用地を優先的に斡旋する。地元意向を汲みつつ、地域の担い手を対象として優先的に農用地を貸し出し、その後、地域外や入作農家等を調整する。水稻の裏作として麦や露地野菜栽培等を行うことで農用地を効率的に利用し、農業経営の複合化を推進する。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	21.3 %	将来の目標とする集積率	67 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
自己所有農用地については、自己管理による保全を基本として、後継者がいない等で維持管理ができない農地については、農地機構や近隣の担い手等に打診して農用地の集団化を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積・集団化の取組
農地機構を活用して、地域の新規就農者や認定農業者を中心に農用地の集積・集約化を推進し、農用地の集団化を図る。また、受け手がいない場合は、地域外の担い手と調整する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農業者の高齢化により、経営規模の縮小や、離農する農業者が増えてくると見込まれるため、農用地の所有者の意向を踏まえた上で農地機構に貸し付け、農用地を地域内の新規就農者や担い手を中心に集積・集約するとともに、引き受け手がいないときは地域外の担い手で調整する。
(3)基盤整備事業への取組
1集落が農業競争力強化基盤整備事業(田中北部地区)に取り組んだ。基盤整備が行われていない地区は必要性は理解されているが、宅地開発等が行われているので難しい。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
東讃農業改良普及センターと協力連携して、認定農業人材等の多様な経営体の掘り起こしや確保に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
非担い手農家を中心に農業支援グループ等への委託作業を利用し農地の維持管理を図る。

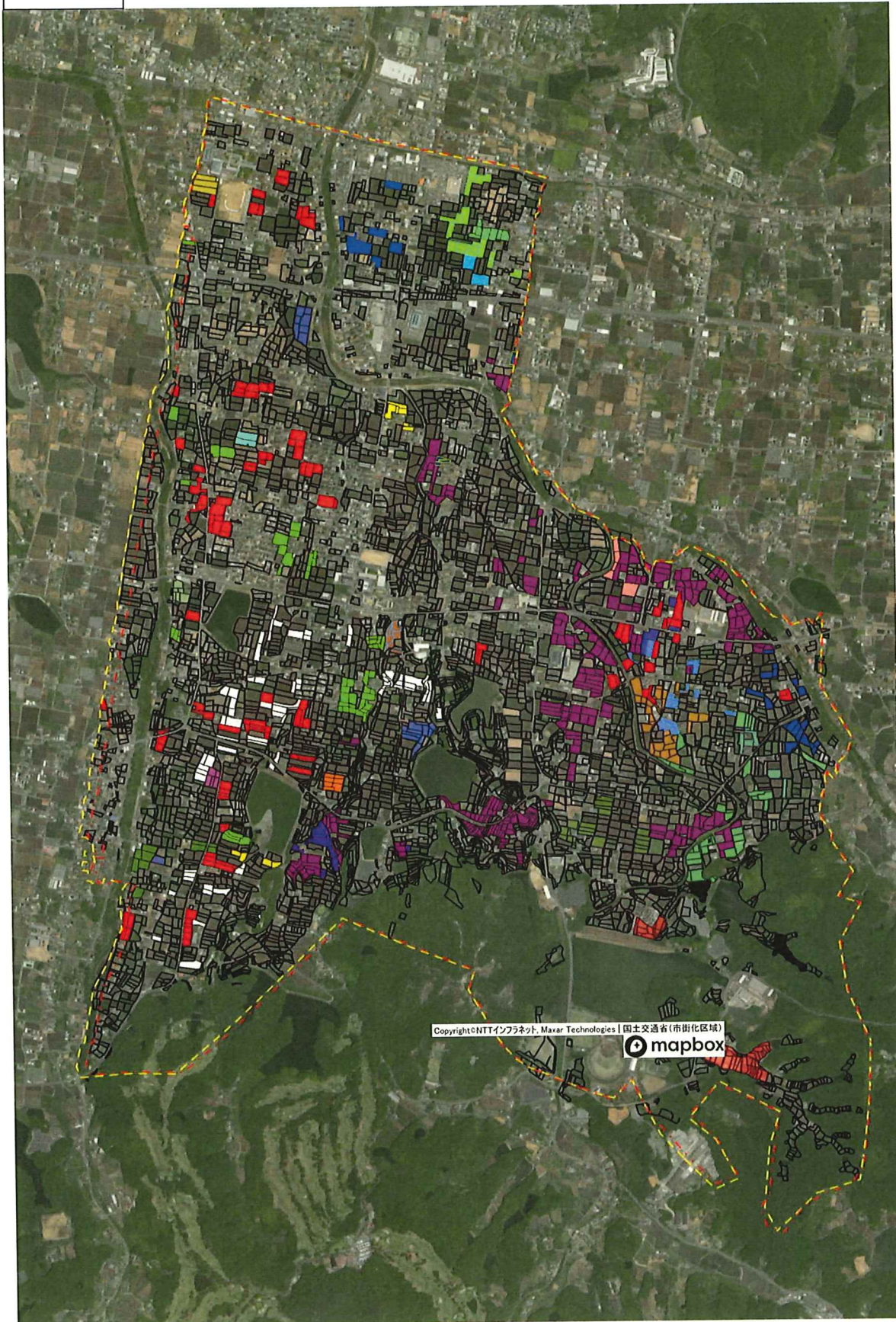
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他
【選択した上記の取組内容】				
⑨近年の飼料高や麦の単価安に対応するため、地域内外の畜産農家と連携し、耕畜連携によりWCSや飼料作物を増やす。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	認農 (有)広野牧場	酪農、和牛	0.4 ha	ha	酪農、和牛	0.4 ha	ha	1	
2	認農 高重 浩二	水稲、麦	1 ha	ha	水稲、野菜	10.3 ha	ha	2	
3	認農 沖藤 高奨	野菜	2.3 ha	ha	野菜	1.5 ha	ha	3	
4	認農 黒川 優	水稲、施設園芸	0.9 ha	ha	水稲、施設園芸	0.9 ha	ha	4	
5	認農 中川 諒郎	水稲、麦	6.4 ha	ha	水稲、麦	3.8 ha	ha	5	
6	認農 市坂 計吾	イチゴ	0.6 ha	ha	イチゴ	0.6 ha	ha	6	
7	認農 白井 邦佳	水稲、キュウリ	2.2 ha	ha	水稲、キュウリ	2.2 ha	ha	7	
8	認農 原内 健正	酪農、水稲	0.9 ha	ha	酪農、水稲	1.1 ha	ha	8	
9	認農 白井 敏雄	タバコ、水稲	0.5 ha	ha	タバコ、水稲	0.5 ha	ha	9	
10	認農 平井 秀雄	イチゴ、水稲、麦	1.3 ha	ha	イチゴ、水稲、麦	1.3 ha	ha	10	
11	認農 平井 直行	和牛、水稲	3.2 ha	ha	和牛、水稲	3.1 ha	ha	11	
12	認農 谷本 健一	水稲、麦	0.8 ha	ha	水稲、麦	0.8 ha	ha	12	
13	認農 石井 直子	水稲、麦	2.3 ha	ha	水稲、麦	1.8 ha	ha	13	
14	認就 小林 智樹	イチゴ	0 ha	ha	イチゴ	0.3 ha	ha	14	
15	認農 プーキートレーディング(株)	飼料作物	1.7 ha	ha	飼料作物	1.7 ha	ha	15	
16	認農 (株)森のいちご	イチゴ	2.1 ha	ha	イチゴ	2.6 ha	ha	16	
17	認農 藤野 紘嗣	イチゴ	0.5 ha	ha	イチゴ	0.5 ha	ha	17	
18	認農 農)井上明風営農組合	水稲、麦	0.6 ha	ha	水稲、麦	0.6 ha	ha	18	
19	認農 日笠工業(株)	水稲、麦	22.3 ha	ha	水稲、麦	18.5 ha	ha	19	
20	認就 高木 優作	露地野菜	0.4 ha	ha	露地野菜	0.4 ha	ha	20	
21	認農 (株)スカイファーム	イチゴ	0 ha	ha	イチゴ	0.4 ha	ha	21	
22				ha	ha	ha	ha		
23				ha	ha	ha	ha		
24				ha	ha	ha	ha		
25				ha	ha	ha	ha		
26				ha	ha	ha	ha		
27				ha	ha	ha	ha		
28				ha	ha	ha	ha		
29				ha	ha	ha	ha		
30				ha	ha	ha	ha		
31				ha	ha	ha	ha		
32				ha	ha	ha	ha		
33				ha	ha	ha	ha		
34				ha	ha	ha	ha		
35				ha	ha	ha	ha		
36				ha	ha	ha	ha		
37				ha	ha	ha	ha		
38				ha	ha	ha	ha		
39				ha	ha	ha	ha		
40				ha	ha	ha	ha		
41				ha	ha	ha	ha		
42				ha	ha	ha	ha		
43				ha	ha	ha	ha		
44				ha	ha	ha	ha		
45				ha	ha	ha	ha		
46				ha	ha	ha	ha		
47				ha	ha	ha	ha		
48				ha	ha	ha	ha		
49				ha	ha	ha	ha		
50				ha	ha	ha	ha		
51				ha	ha	ha	ha		
52				ha	ha	ha	ha		
53				ha	ha	ha	ha		
54				ha	ha	ha	ha		
55				ha	ha	ha	ha		
56				ha	ha	ha	ha		
57				ha	ha	ha	ha		
58				ha	ha	ha	ha		
59				ha	ha	ha	ha		
60				ha	ha	ha	ha		
61				ha	ha	ha	ha		
62				ha	ha	ha	ha		
63				ha	ha	ha	ha		
64				ha	ha	ha	ha		
65				ha	ha	ha	ha		
66				ha	ha	ha	ha		

目標地図



凡例	
	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
	9
	10
	11
	12
	13
	14
	15
	16
	17
	18
	19
	20
	21

Copyright©NTTインフラネット、Maxar Technologies | 国土交通省(市街化区域)

